

第7次舞鶴市総合計画前期実行計画の点検評価に係る各委員の意見

【総務消防委員会】

点 検 評 価 項 目		評価項目及び評価の理由
1 ・ 2 ・ 1	舞鶴版コンパクトシティの推進	
	2(1)① 鉄道、路線バス及び自主運行バスの運行の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍でも公共交通が維持されるよう財政支援と利用促進に努められている。 ・ 今後、バス事業者やタクシー事業者に対する働き手の確保に関する支援の強化が必要である。 ・ コロナ禍でありながらも事業が計画どおり進められているが、利用促進についてはさらなる取組の工夫が求められる。 ・ 市民に積極的に公共交通を利用する生活への「行動変容」を促す取組の早期具体化が望まれる。
	2(1)② 公共交通の利便性向上と交通アクセスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通系ICカードについては、JRの取組も含め、利用促進策による効果があったと認められる。今後のバス・タクシーへの導入にも期待したい。 ・ ICocaの導入支援により、公共交通の利便性向上が図られた。今後は、高齢者への導入支援にも取り組んでいただきたい。 ・ ICocaの利用促進事業後、東西駅での利用者数が1,000人以上増加しているという点で大きな成果が認められる。 ・ バス・タクシー事業者はもとより、産業振興部と連携して小売事業者等でも交通系ICカードが利用できるまちづくりに取り組む必要がある。
2(1)③ 市民、交通事業者及び行政の連携による公共交通の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通に理解と親しみを感じてもらう取組は重要であり、短期間で効果は現れないと思うが、継続していくべきである。 ・ 各交通手段をどのように相互利用すれば市民が便利に使えるかを市が率先して企画及び実施し、その周知を図って利用者を確保していく必要がある。 ・ 京都府北部地域連携都市圏公共交通計画の策定など、公共交通における都市間連携にも取り組まれている。 ・ 中高生対象のモビリティ・マネジメントや子育て世帯をターゲットとした交通イベントの早期具体化が望まれる。 	

第7次舞鶴市総合計画前期実行計画の点検評価に係る各委員の意見

【総務消防委員会】

点 検 評 価 項 目		評価項目及び評価の理由	
1 ・ 2 ・ 1	舞鶴 テ版 イコ のン 推パ 進ク トシ	2 (1) ④ 持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークのあり方の検討	<ul style="list-style-type: none"> meemoの実施地域では評価が高い。他の地域では制度自体が知られていないと思われるが、今後の本格実施に期待する。 継続した実証実験によりmeemoについて地域での認知が深まり、今後の公共交通を補完するサービスとして定着しつつある。継続とさらなる取組強化によって地域の交通を支えていくべきであると考える。 計画どおり進められているが、公共交通の在り方としては多くの課題もあり、さらなる取組の検討が必要である。 meemoについては、地域や関係者の協力のもと、実証実験期間中に105買い物マッチングに成功し、地域からも期待されており、本格実施に向けて取り組まれた。
2 ・ 2	持 続 可 能 な ま ち づ く り	3 (1) ① 時代に応じた最新技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> RPA、AI-OCRによる作業時間の削減率は非常に高く、成果が認められる。これをサービスの充実や経費の削減につなげていただきたい。 RPAやAI-OCRの活用により多くの業務改善が図られた。引き続きの実施と市政全体への波及に取り組んでいただきたい。 計画どおり進められているが、業務の効率化と勤務改善に向け、今後さらなる努力が求められる。 公の機関同士のシステム連携などにおいて、国への積極的な働きかけが必要である。
		3 (1) ② 行政手続きの利便性向上と業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの普及が図られ、行政手続きのオンライン化などにより順調に利便性が高められている。 コンビニ交付の実績も高く、マイナンバーカードの有効性が実証されている。今後は電子申請を市として統一し、全ての場面で利用できる環境に近づける必要がある。 証明書等のコンビニ交付や電子申請システムなどが計画どおり進められている。 マイナンバーカードや電子申請の利活用、国の法整備等に沿った行政手続きのオンライン化によって利便性の向上と業務の効率化が図られている。